

の成り立ち

相国寺

禅に帰依した
足利三代將軍。



重要文化財《足利義満像》室町時代 15世紀 鹿苑寺藏【後期展示】

相国寺を開いた夢窓疎石の高弟。



重要文化財《春屋妙葩像》南北朝時代 14世紀 慈照寺藏【前期展示】

中国絵画の名品として伝わる
色鮮やかな羅漢図。

重要文化財 陸信忠《十六羅漢図 賓度羅跋囉惰闍尊者》部分
南宋時代 13世紀 相国寺藏【後期展示】



相国寺で受け継がれた名品。
多くの画家を感化した。



重要文化財
文正
《鳴鶴図》
元々明時代 14〜15世紀
相国寺藏

重要文化財
雪舟
《毘沙門天像》
室町時代 15世紀
相国寺藏

重要文化財
雪舟
《毘沙門天像》
室町時代 15世紀
相国寺藏



室町時代 15世紀
相国寺藏
《十牛圖卷》
（部分）
伝周文

牛と童子で描かれる悟りへの道。
牛が表すものとはなにか。

と水墨の美

雪舟は相国寺で修業し、周文に絵を学んだ。
中国に渡って彼は何を学んだか。

雪がやんだ後の夕暮れ。旅人たちが行く。



重要文化財
伝張遠
《寒山行旅山水図》
元時代 14世紀
相国寺藏

重要文化財
伝張遠
《寒山行旅山水図》
元時代 14世紀
相国寺藏

相国寺は、室町幕府三代將軍・足利義満（1358〜1408）が永徳2年（1382）に発願し、京五山禅林の最大門派であった夢窓派の祖・夢窓疎石（1275〜1351）を勧請開山に迎え、高弟の春屋妙葩（1311〜1388）を実質開山とし創建された禅宗の古刹です。

今も京都の地、御所の北側にその大寺の姿を誇り、金閣寺、銀閣寺の通称で名高い鹿苑寺、慈照寺を擁する臨済宗相国寺派の大本山です。

時代を通じ、相国寺は芸術家を育て、名作の誕生を導いてきました。

室町幕府の御用絵師とされる相国寺の画僧・如拙と周文。室町水墨画の巨匠と称される雪舟。江戸時代の相国寺文化に深く関わった狩野探幽。そして奇想の画家・伊藤若冲、原在中、円山応挙…。中世に規範を得た相国寺文化圏の美の営みは、近世、近代、現代へと時を繋ぎ、相国寺、鹿苑寺、慈照寺が所有する美術品は相国寺境内にある承天閣美術館で公開されてきました。本展覧会は、相国寺承天閣美術館開館40周年を機に開催するものです。

国宝、重要文化財約45件
を含む相国寺派の名品を中心に紹介し、相国寺の美の世界をみつめ、未来へ託します。

江戸の文化復興

が生きた時代

近年のコレクション

江戸時代に収集され、大切に守り伝えられてきた高僧の書。
 国宝《無学祖元墨蹟 与長楽寺一翁偈語》(部分) 鎌倉時代 弘安2年(1279) 相国寺蔵
 右:第一幅【前期展示】 左:第三幅【後期展示】

如来ふく眼
 非今亦不
 父子親不傳
 千載宗
 付書嚴擊
 竹偈哉
 錯指注昨
 朝門長樂
 直答無勝
 語如人白
 畫行不用

長樂一宿不
 無準老人雅
 會中同住
 然不相知
 四十年後山
 野到日本之
 巨福山而特
 長訪備導
 前後工夫辛
 苦之情且云不
 習語言格於

伊藤若冲
 《竹虎図》(部分)
 梅莊頭常贊
 江戸時代 18世紀
 施苑寺蔵
 【通期展示】



相国寺僧の梅莊頭常と
 親しかった若冲は、
 中国絵画を学び、
 作品を制作した。



探幽が創り出す
 幽玄美の世界。
 相国寺の
 儀礼のために
 作られた作品。

奇妙な形の波に浮かぶ
 仙人を描いた中国絵画。
 劉俊《陳南浮浪図》
 明時代 15世紀 相国寺蔵 【通期展示】



重要文化財 田山応挙《牡丹孔雀図》
 江戸時代 明和8年(1771) 相国寺蔵
 【後期展示】

江戸後期の京都に現れた応挙。
 端正美を描いた。

重要文化財
 田山応挙
 《七難七福図巻 天災巻》(部分)
 江戸時代 明和5年(1768)
 相国寺蔵
 【後期展示】



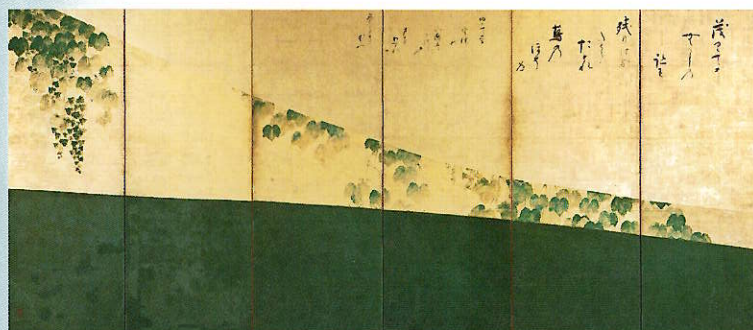
狩野探幽
 《鶺鴒・鳩・尾長鳥・
 鶏図座屏》(部分・鶺鴒図)
 江戸時代 慶安元年(1648)
 相国寺蔵
 【通期展示】

応挙が繊細に描いた
 天災と人災、
 そして幸せの姿とは。



受け継がれる名品
 そこに物語があつた

会期中一部展示替えをします
 前期 10月11日—11月4日 後期 11月6日—11月27日



金箔の妙。書と絵のコラボレーション。俵屋宗達の世界。



重要文化財 伝俵屋宗達《葛の細道図屏風》江戸時代 17世紀 相国寺蔵 【前期展示】